

# 令和5年度第1回府中市都市計画審議会

## 【議事概要】

### ○開催日

令和6年1月12日（月）13:00～14:30

### ○開催場所

府中市役所4階 第一委員会室

### ○出席委員

岡辺重雄（会長）、加藤誠章、田中貴宏、小寺旭、森川 稔、芝内則明、梅林幾彦、栢英彦、桐島一義、高尾英里

### ○議案

- ・第1号議案 備後圏都市計画下水道の変更について

### ○主な議論

- ・第1号議案 備後圏都市計画下水道の変更について

（委員） 説明資料の14ページのポンプ場の写真を見ると、ポンプが3台あるように見えるが、説明の中では2台整備するという話だった。どちらが正しいか。

（事務局） あくまでもイメージ図で、整備するのは2台。

（委員） 排水量が増えたということだが、面積が広がったということか。

（事務局） 面積は広がっていない。現状の水路等を調査する中で必要な水路の幅等を再検討した結果、排水量が少し増えたもの。

（委員） 9.532 m<sup>3</sup>/秒から9.792 m<sup>3</sup>/秒に増えたということだが、既存の水路に流れているはずなのに、水路を検討したら増えたということにどう関係があるのか。

（事務局） 排水区というものをまず設定しているが、排水区自体は変更はない。当時から何が変わったかと言うと、排水区の中の土地の利用形態等が変わってきている。当時求められていた既存の水路の状況というものが、30年前と変わってきているところがある。今の現況の水路等が、構造が当時と違うということになれば、最下流に集まってくる水量については、流速等が変わる。それによって、最後に集まってくる量が変わってきているというのが現状である。

それにこたえられるポンプの機能、能力を求めていくということになる

（委員） 農地には貯水力があるので、それで災害を防いでいたようなところがあるが、近年は住宅開発で宅地化が進み、貯水力が落ちてきている。

報告されている結果も良くわかるが、そういったことも挙げて説明していただけたらと思う。

（会長） 土地利用が農地から宅地になると、水が地面に浸透せず、水路を流れて下の方に流れて

いくため、計算してみたら少し変わったということ。それも1秒間に0.2 m<sup>3</sup>の差で、バケツ何杯分という細かいことを、ご検討いただいている。

逆に言うと、3 m<sup>3</sup>/秒の処理能力のあるものを、最大で4台設置できるということで、12 m<sup>3</sup>/秒までは大丈夫で、少し余裕がある計画になっている。

(委員) 現在、グラウンドの中にはこういった施設はなく、新しくつくられるという認識で間違いないか。

(事務局) 間違いない。

(委員) グラウンドは沢山の方が利用される場所だと思うが、人や物の落下対策については何かお考えか。ポンプのイメージ図を見ると、外から何か物が侵入できるように見えたが、それとも完全に建物の中に設備が入るのか。

(事務局) ポンプ自体は建物の中に入らず、外に露出している。

(委員) イメージ図のように常時水が溜まっているか。

(事務局) 常時水が流れている状態で、ある程度の水位がある。

(委員) 例えばグラウンドからボールが飛んできたりとか、何かお子さんが誤ったり落下したりする可能性というのはないか。

(事務局) 施設の周りはフェンスを設置するので、中に入っていたかからないようには考えている。基本的に周りの堤防の位置に合わせてポンプ場を設置するので、現在のグラウンドに土を盛って高くして設置する。

(委員) 計画排水量の説明の際に、水路の改修を伴うということを言われたが、間違いないか。

(事務局) 計算上の前提として、改修をした後の水路で計算をするということ。

(委員) では、当面は9.729 m<sup>3</sup>/秒よりは少ないということか。

(事務局) 当面は少ないと思う。

(委員) ここはポンプ場を4台設置できるということで、当初は2台設置されるということだったが、残りの2台はいつごろの設置を予定されているか。

(事務局) 平成30年災害時の雨が降った場合、この2台で対応できる計算にはなっているので、今後それよりも雨が降るような場合に、必要に応じて残り2台の整備も検討していく。

(委員) グラウンドが狭まると思うが、設置予定がないものについて大きな設計をして、電気設備の大きな場所を取っておくのはいかがなものかと思う。

(事務局) 将来的に必要である中で、あとからの増設が難しいとされているものについては、当初から検討して作ることが有利であると考えている。電気設備については、当初5トンに対応できるように、電気設備を行って整備していくこととしているので、増設されればそれに合わせて、段階的な整備が増えていく形になると考えている。

(会長) 災害のことを考えると、できるだけ早くフルスペックでやっていきたいというのが、行政のお考えだろうと思うが、ただ予算の問題があるので、なかなか明確に言えないという立場だろうと私は推察している。

できる基盤は最大限確保しておいて、できるところから整備しているということになる

のだと思う。ただ、そうこうしているときに災害は起きてしまうので、できるだけ活発に、災害を未然に防げるように努力いただければと思う。

今回の都市計画の変更は、流域がどうこうという話ではなく、その施設を作る場所、それを詳細に設計してみたら、少し位置が動いたということで、全くないものを作りますということではない。ただし、グラウンドは、今まだその施設がつくられていないので、利用者の方は広々と使えていたのにと思われるかもしれない。その辺りが、少し気になるところがあるかもしれない。

「第1号議案 備後圏都市計画下水道の変更について」異議なしのため、適当とみなされる。

以上